

車内空間・車載サービスの向上を図るための AI、データ、アプリと今後の開発のあり方

2025年10月10日

株式会社Bashow
程塚正史

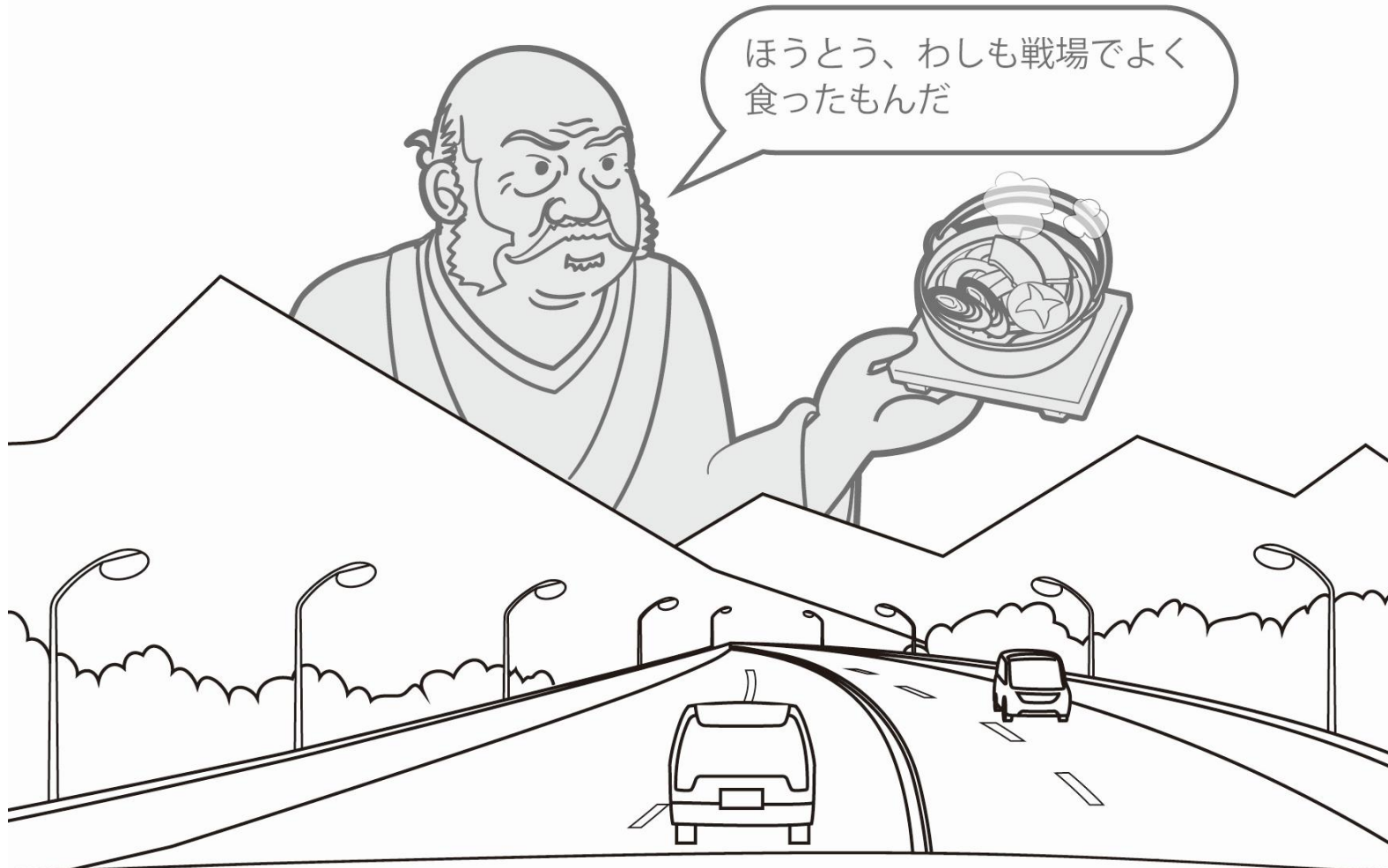
- 社名 : 株式会社Bashow
- 代表取締役 : 程塚正史
(シンクタンクの日本総研出身)
- 所在地 : 東京都中央区日本橋室町
- ミッション : デジタルコンテンツによって移動体験を豊かで価値あるものに
(車載アプリ市場の立ち上がりを主導する！)
- 設立日 : 2024年4月2日
- 株主 : 創業メンバー、TPR株式会社、アルバクロス (東大系VC)

会社設立1.5周年記念パーティの様子（10月2日）



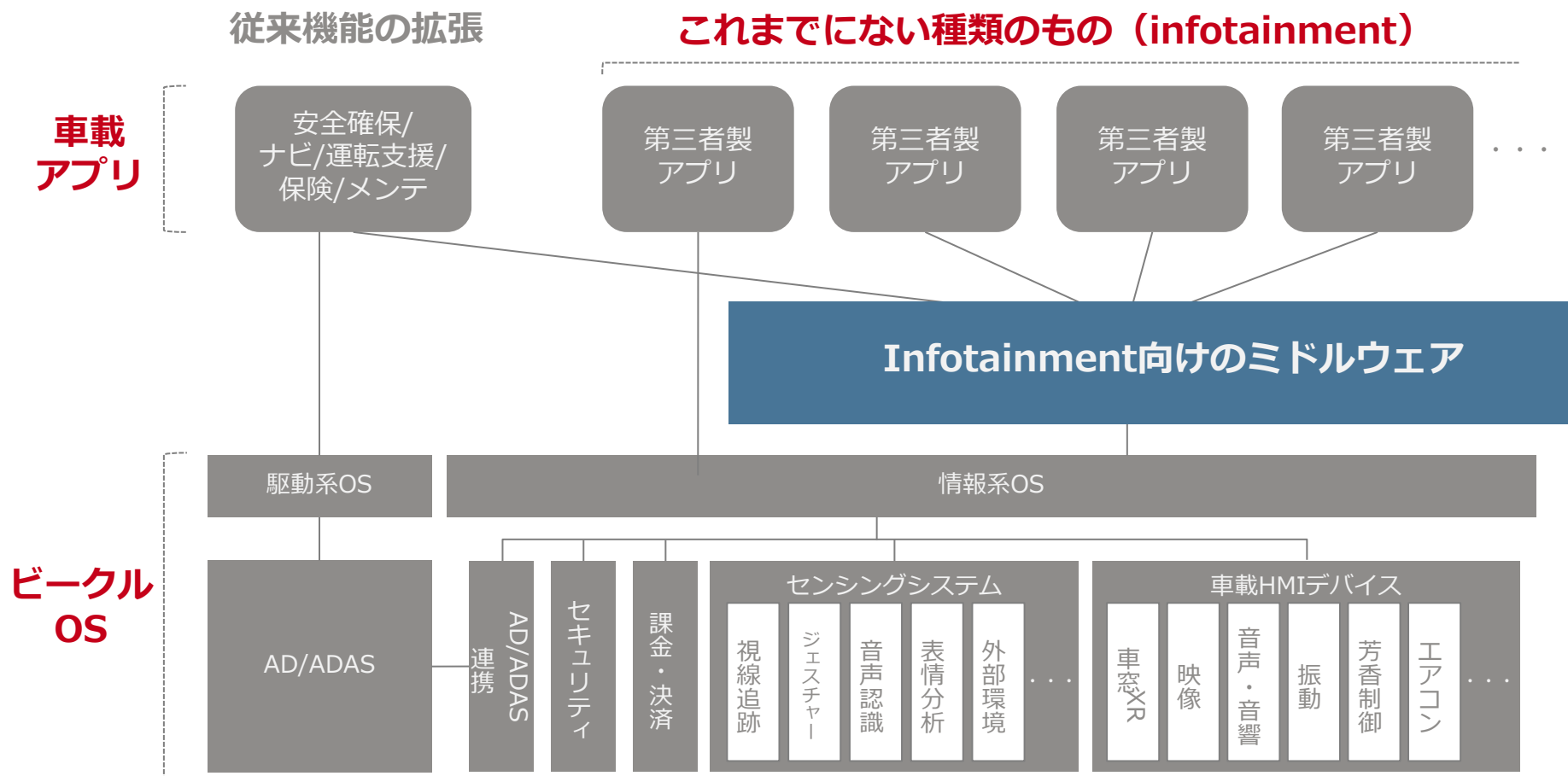
車内空間・車載サービスの一例

中央道を自動走行していると、甲府南インターあたりで山の向こうから「武田信玄」XRが登場。
まだ時間に余裕もあり、小腹もすいてきたなか「甲府で降りてほうとう食べんか？」と提案される。



車載アプリ市場の構造

各OEMのビークルOSの上に、エンタメ企業など第三者製アプリが載る。Infotainmentが伸びる。
InfotainmentはビークルOSのAPIをコールするが、その際、共通のミドルウェアが不可欠。



車載アプリに不可欠なシステム

刻々と変わる環境や状況に基づいてコンテンツを提供し、その結果をセンシングする。
これら一連のデータを学習セットとするAIが、コンテンツ表現の最適なタイミングを計る。

環境・状況

- 下りの中央道、甲府南インター付近
- 昼下がりの時間帯
- もう2時間ほど走行中
- 運転席の人物は少し眠い表情
- 体温は正常、心拍数が少々上がりぎみ
- 甲府南インター近くに複数のほうとう屋
- 運転席の人物は戦国武将好き

コンテンツの選択肢

- VTuber「キズナアイ」が囁きかける
- Snow Manがはしゃぎまわる
- 地図上にオススメのレストランを示す
- 「武田信玄」が山の向こうから現れる
- 突然だじゃれを言う
- 大谷翔平の話題を持ち出す
- 何もしない

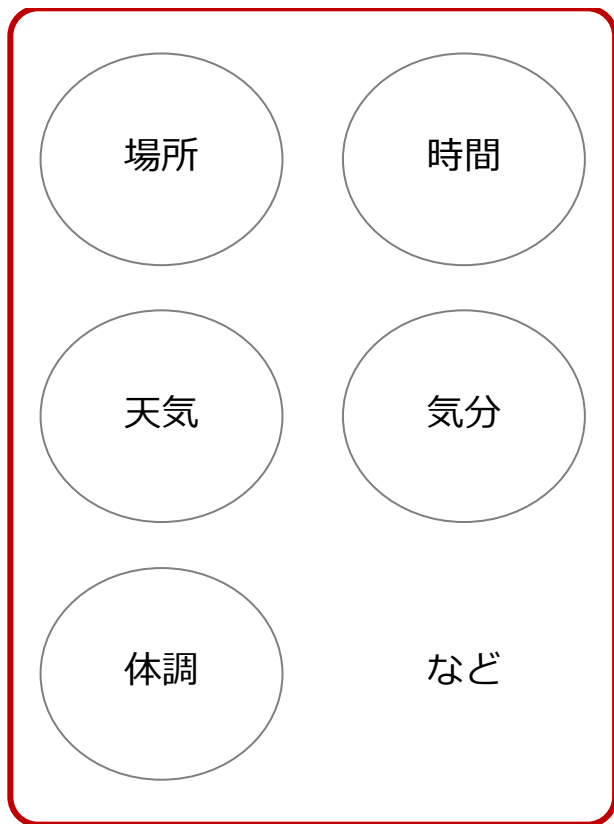
結果（報酬）

- 利用者が「へえ。いいなあ」とつぶやく
- ほうとうレストランをナビにセットする
- 手動運転に切り替える
- 甲府南インターで降りて、ほうとうレストランとコンバージョンする

新たなレコメンドAI

場所、時間、気分などのリアル空間情報に基づいて最適なコンテンツを選定するAI。
State, Action, Rewardの3つが揃うことで、レコメンド機能を持つAIが継続的に進化する。

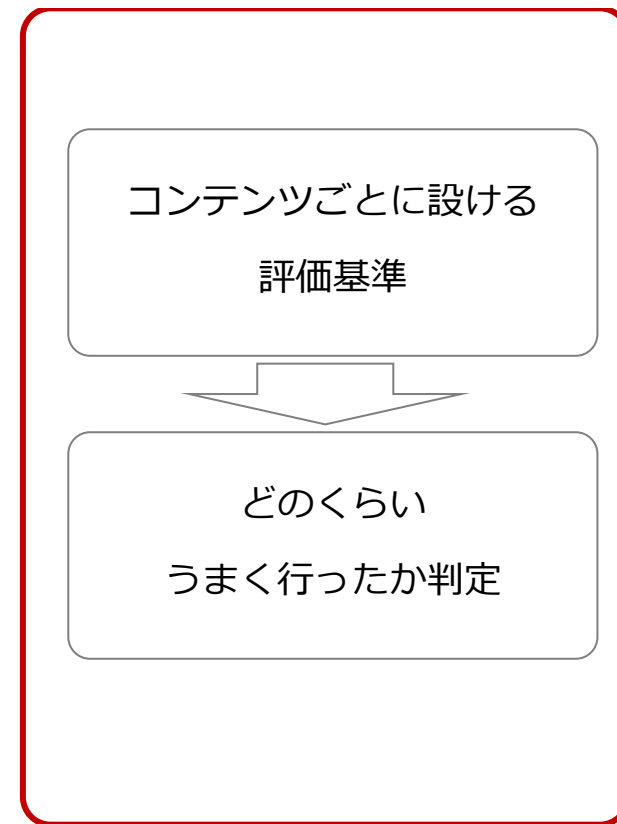
State



Action



Reward

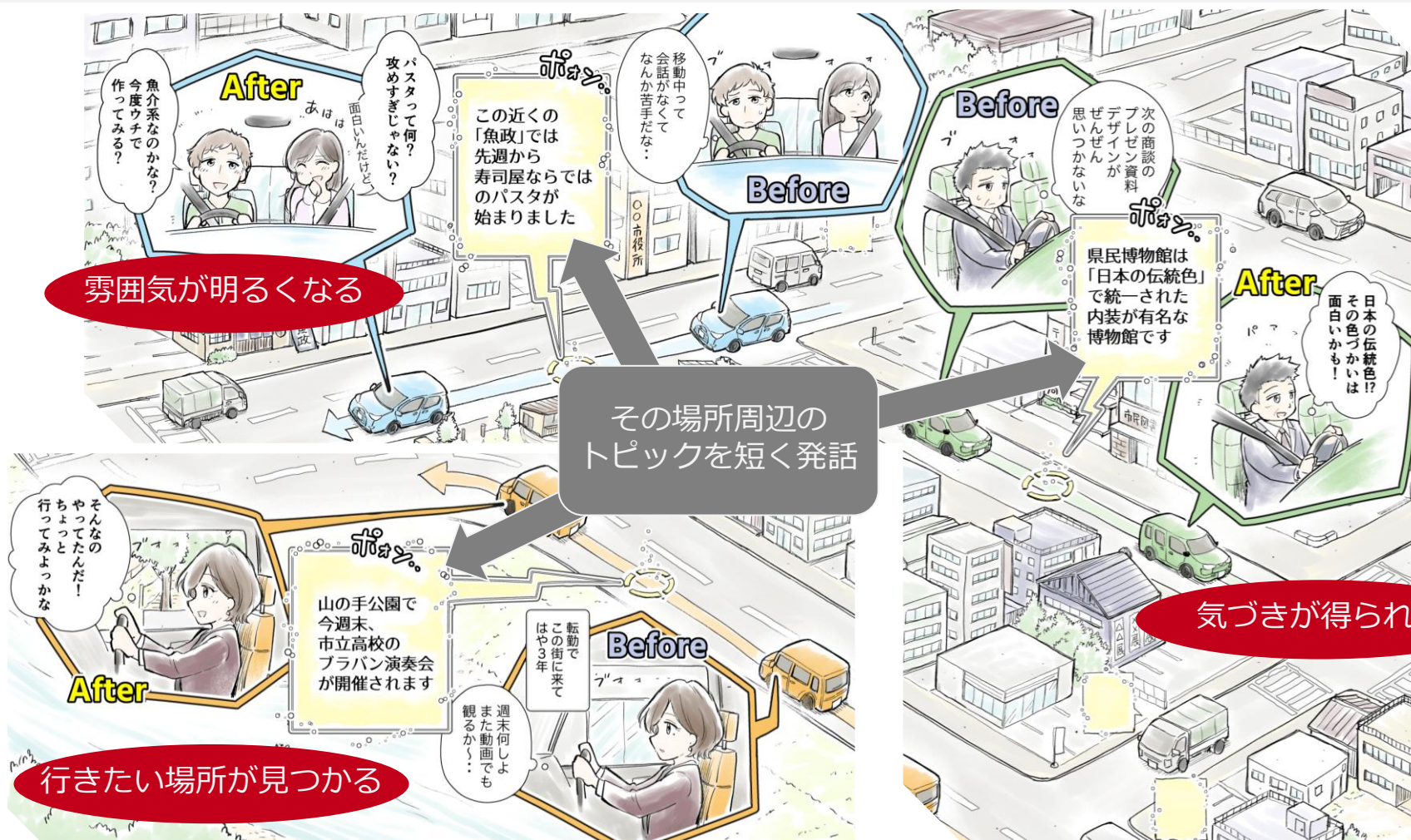


当社最初のプロダクト「地域トピック案内」

「車載アプリ」の先駆けとして、地域トピックを短い音声で案内するスマホアプリを運用。
現状では一部地域にてPoC中。2025年11月1日頃から、首都圏全域で運用開始予定。



アプリDLは
こちらから



利用シーン動画



アプリDLは
こちらから

BashowアプリのUI

再生ボタンを押すと、数分おきに10秒程度のトピックを発話。利用者は受け身で楽しむ。
走行後、トピック一覧や、関連リンクや地図を表示する。

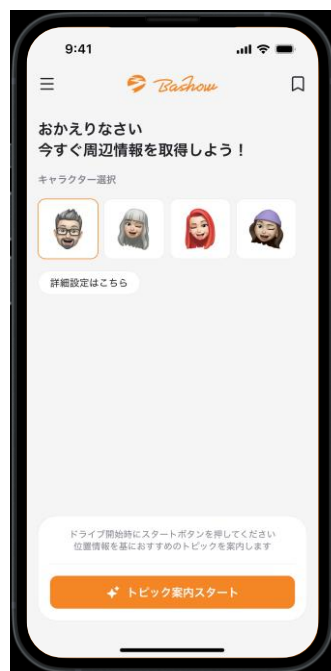


「再生」を押すだけで
楽しめる

起動時



再生開始



一覧表示



お気に入り登録



詳細確認



詳細が知りたくなったら
地図や元ネタを見れる

トピック案内サービスの価値

関心や行動の幅が広がる！が最大の価値。実証でのアンケート等でもそのような声が多数。
世の中には「ステキ」がたくさんある。Bashowは「ステキ」に気づくきっかけを提供する。



アンケート調査での利用者の声

何気なく通過していただけの飲食店の案内を聞いて、初めて家族と訪問した

マイナーなお店もピックアップされるので自分じゃ調べることがないお店を知れる

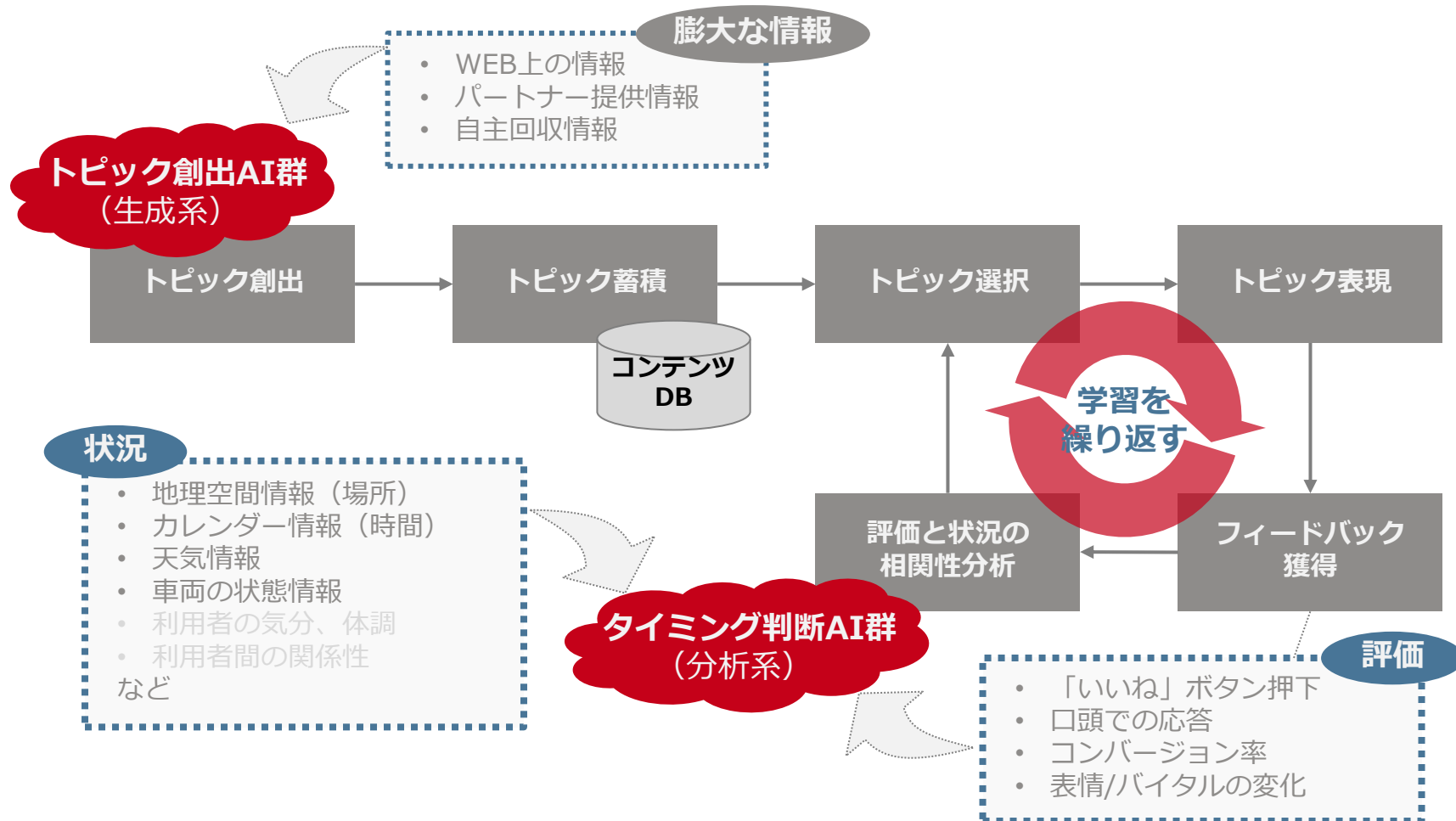
お寺の行事のエピソードを聞いて、なんだかほっこりした

ずっと住んでいる地元の旧跡についてその由来を初めて知った

アプリの情報をきっかけに車内が盛り上がって楽しかった

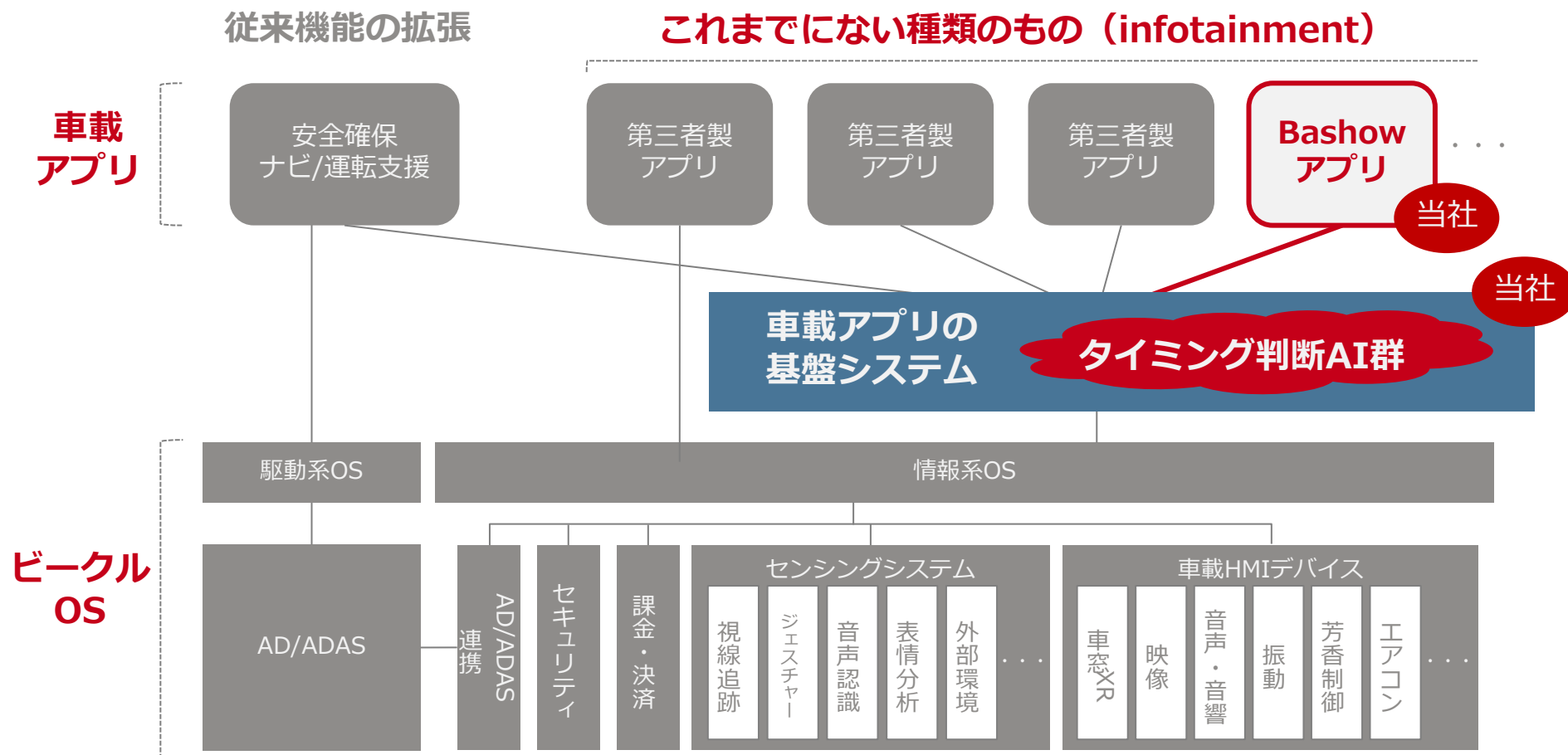
持続的に成長する独自システム

バックエンドで生成AI群が半自動的に繰り返しトピックを創出、何らかのタイミングで発話する。
発話時の「状況」データ、利用者からの「評価」を元に、タイミング判断AIの構築を開始している。



将来的に見据える当社のポジショニング

当社のアプリは、近い将来、クルマに直接ダウンロードされる車載アプリに進化する。
サービスの実データを元に構築するタイミング判断機能は、車載アプリ市場の基盤システムになる。



当社事業の意義（日本として…の視点から）

日本の自動車は、電動化、自動運転という2つの山場で出遅れた。次の山は車載アプリ市場。
車載アプリは、ともすれば無駄とされてきた移動時間を豊かで価値あるものに変える。そこに新市場がある。

2010 2015 2020 2025 2030

電動化

三菱や日産が先行するも… → Teslaが牽引し中国市場が拡大し → 今や日本勢のシェアは僅少

自動運転

技術開発では日本が先行したが… → 米中にて大規模な実証が進んでおり → …

車載アプリ

Teslaが兆しを見せ → 中国の新興勢が試行錯誤し → 欧州勢が猛追している → …

新たな基盤システム構築に向けてのご支援・応援をお待ちしております！

- 車載データ利活用環境のご提供
- 新たなアプリ／コンテンツの受容性検証環境のご提供
- 独自AI構築に向けた資金提供
- 「地域トピック案内」アプリの事業性確保に向けたご相談
- 同アプリのご利用



アプリDLはこちらから



ご清聴ありがとうございました



Mail

hodotsuka.masashi@bashow.co.jp

LinkedIn

<https://www.linkedin.com/in/masashi-hodotsuka-841578278/>

Facebook

https://www.facebook.com/profile.php?id=100078799641944&locale=ja_JP